

24時間対応の定期巡回・随時対応サービス事業最終報告書

岐阜県大垣市

【事業者に関する事項】

- 実施事業所数 3 か所
- 事業種別 訪問介護事業所等
- 事業所の所在地 市内

本市では、モデル事業の開始前に、市内の訪問介護事業所等 26 事業所に実施の移行調査を行い、そのうち 3 事業所が平成 22 年度、23 年度にモデル事業を実施した。単価契約により各事業所と契約し、実績に基づき翌月の支払とした。

利用者の人数は各事業所ごとに異なり、平均 2 名から 15 名程度の利用人数であった。

本事業を行うにあたり、事業者によっては、ヘルパー等の巡回方法などに工夫が見られた。これまでの長時間サービスでは、利用者一人に対し一人のヘルパーを基本としていたが、一人のヘルパーが短時間介護をしながらいくつもの利用者宅を回ることを優先した。そのために巡回コースの設定を研究した。この結果ヘルパー一人の拘束時間が長くなり、長時間の安定した勤務を確保することができた。入れ替わり複数のヘルパーが訪問することへの利用者の不安はあまり見られず、逆に訪問時刻に対しても柔軟であることも分かり、短時間のコミュニケーションで必要な介護が行われることにより、新しいヘルパーとベテランヘルパーとのギャップも少なく感じられ好評であった。

【利用者に関する事項】

- 平成 23 年度延利用回数 10,502 回
- 平成 23 年度延利用者数 291 人
- 平成 23 年度実利用者数 49 人
- 平成 23 年度一人あたり平均利用回数 36.1 回

本市では、社会福祉課で事業を実施した。本課は障がい者の担当課であるが、これは、障がい者の利用も想定してのことであった。しかしながら、利用者のほぼ全てが介護認定を受けた高齢者であった。

1 月あたりの利用人数を当初 20 人程度と想定していたが、4 月に事業開始時から 26 名の利用があり、月平均でも 24.3 人の利用となった。利用回数は夏場にピークを迎え、冬季は若干減少したが月平均で 875 回となった。

【事業実施全体について】

本市では、平成 22 年度から年度間の途切れがない状態で事業を実施してきた。途中、事業検証のための委員会を開催し、利用者像や利用実態を分析した。夜間・早朝の時間帯や、随時対応などのニーズのある方への照会が必要であるとの認識により、委託事業者や介護サービスのケアマネージャーから広く呼びかけを行った。このことなどにより、年間を通し大きく利用者が減少することなくまた、3 事業者が中止することなく継続して事業を実施できた。

利用者からは、定期的な巡回による安定した生活の一助となった、排泄などについて短時間のサービスを利用して安心して任せることができたなどの感想を聞いている。また、長時間訪問に比べ、1 日に何度もヘルパーが訪問することについて、抵抗が少ないとともに複数回訪問による安心した暮らしが確保できていたようである。

平成 24 年度からは、介護保険の枠で実施されることになるが、利用者が短時間サービスを選択することができるよう、本モデル事業を実施した 3 事業所を含めた多くの事業者にも事業の実施を進めていきたい。